

図書委員会が企画してくれた七夕かざり。休憩時間等を使って多くの子どもたちが、願い事を書き図書館の笹に飾っていました。「水泳で25m泳げるように」「勉強がもっとできるように」「友だちともっと仲よくなりたい」「みんながコロナにかからないで元気でいたい」・・・多くの願い事が飾られていましたが、その中にこんなかわいい短冊がありました。
「毎日、お母さんと『ぎゅっと』できますように」

大きな子になると『ぎゅっと』しにくいこともあります。でもやさしい言葉でなら『ぎゅっと』してあげることは、保護者やその家族、もちろん教師にもできることです。

1学期の評価の時期です

学校を巡回していると、多くの学級がテストに取り組んでいます。学期末をひかえ1学期のまとめと評価をする時期になっています。各学年の1学期の内容がしっかり身についたかどうかを振り返り、不十分なところは補充をして夏休みを迎えたいと思っています。

今年度より小学校は新しい学習指導要領となり、各教科の評価の観点が変わりました。教科によっては5つあった観点が、どの教科も3つに統一され、家庭連絡票の学習の記録でも、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価します。

また、家庭連絡票の記述欄が変わります。担任が学期ごとに所見等の記述を行ってきましたが、個人懇談でお話しているお子さんの様子と所見欄の内容が重複していることが多くあり、個人懇談でしっかりとお伝えしようと思います。外国語、特別の教科道徳や所見等は、3学期に1年間のまとめとして記述させていただきます。

それにともない、個人懇談を2日間から3日間に、懇談時間を15分と少し長くし、保護者の方へお子様の様子をお伝えします。これまで家庭連絡票作成に多くの時間をかけていましたが、その時間を授業の準備や子どもの指導にあてたいと考えています。



参観日の感想の中にあつたご意見に対してお答えです

「ホワイトボードに映した映像が見えにくかったです」(複数のご意見)

→大型電子黒板のない学年は、プロジェクターを使いホワイトボードに映して学習をしています。プロジェクターの位置を遠くするなど、文字などが大きくなる工夫を行います。

「授業中は窓を開けてされた方がよいと思います」(複数のご意見)

→エアコンをつけている場合は、休憩の時間に窓を開け換気を行います。エアコンをつけない場合は、天気の状態にもよりますが、窓を開けて授業を行うようにします。

「昨年の学校便り、陸上大会に出た子は写真入りで載ったが、水泳、絵や習字の子どもたちのことは全くふれられていない。どの分野も同じように載せるべき」

→同じ学校から陸上県1位が4種目も出ることはめったにないことなので記事にしましたが、どの分野であれ羽合の子どもたちが活躍することはうれしいことです。これからも運動や、文化的な分野などで活躍している様子をホームページ等と併せてお知らせします。